

「国土形成計画の推進に関する世論調査」 補足説明資料

平成27年10月
国土交通省国土政策局

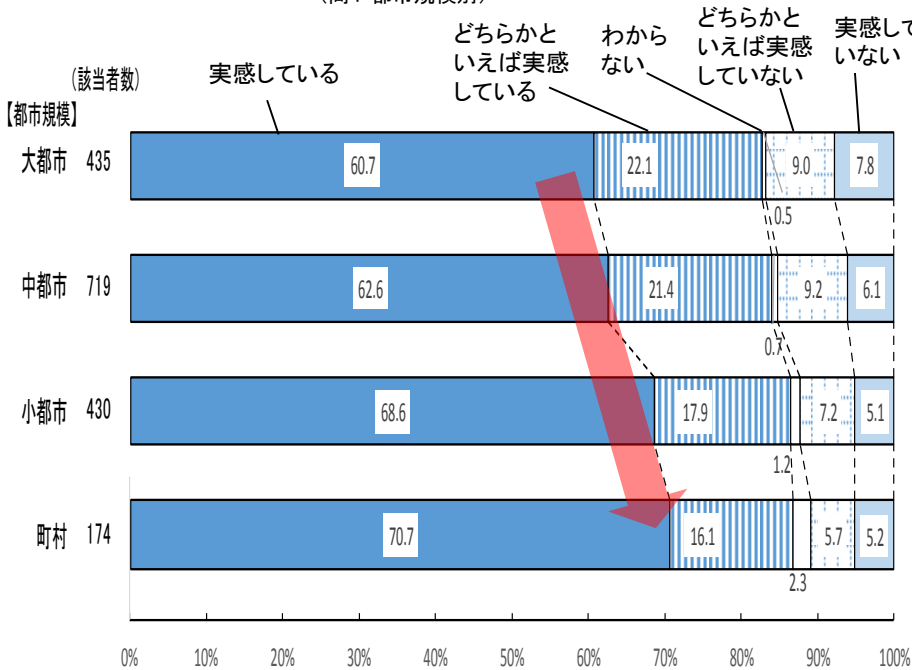
補足1. 人口減少・高齢化の実感(都市規模別)

人口減少・高齢化の実感(問1)について、都市規模別にみると、

- **都市規模が小さいほど、人口減少・高齢化をより強く実感している者が多い。**[1]
 具体的には、若い人が減ったことのほか、バス・鉄道の運行本数、学校等、働く場、病院等が減った、といった生活上の不便を実感する者の割合が、特に多くなっている。[2]
- 一方、高齢者が増えた、近所づきあいが減った、ことを実感する者が、大都市で比較的多い。[2]

[1]居住地における人口減少・高齢化の実感

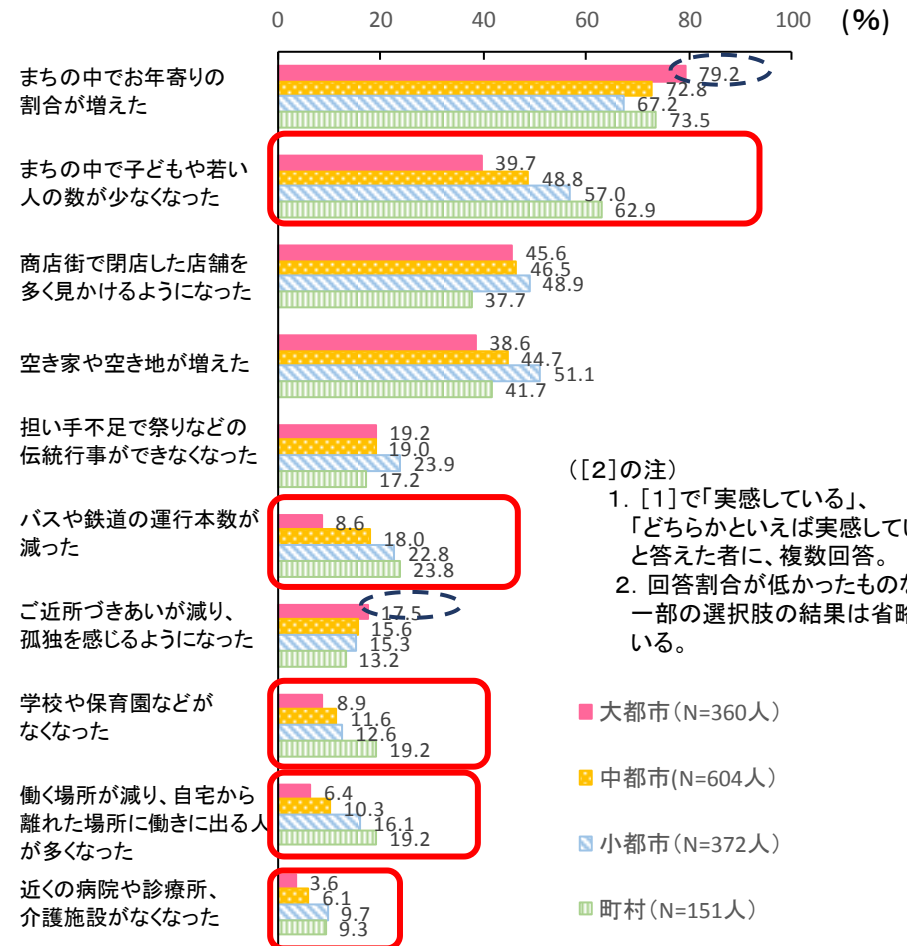
(問1 都市規模別)



- (備考) 1. 本資料は、内閣府「国土形成計画の推進に関する世論調査」により国土交通省が作成。
 2. 本調査で用いた都市規模区分は次のとおり。
 ・大都市: 東京都区部、政令指定都市
 ・中都市: 人口10万人以上の市
 ・小都市: 人口10万人未満の市
 ・町村

[2]人口減少・高齢化を実感する事象

(問1更問 都市規模別)



- ([2]の注)
 1. [1]で「実感している」、「どちらかといえば実感している」と答えた者に、複数回答。
 2. 回答割合が低かったものなど、一部の選択肢の結果は省略している。

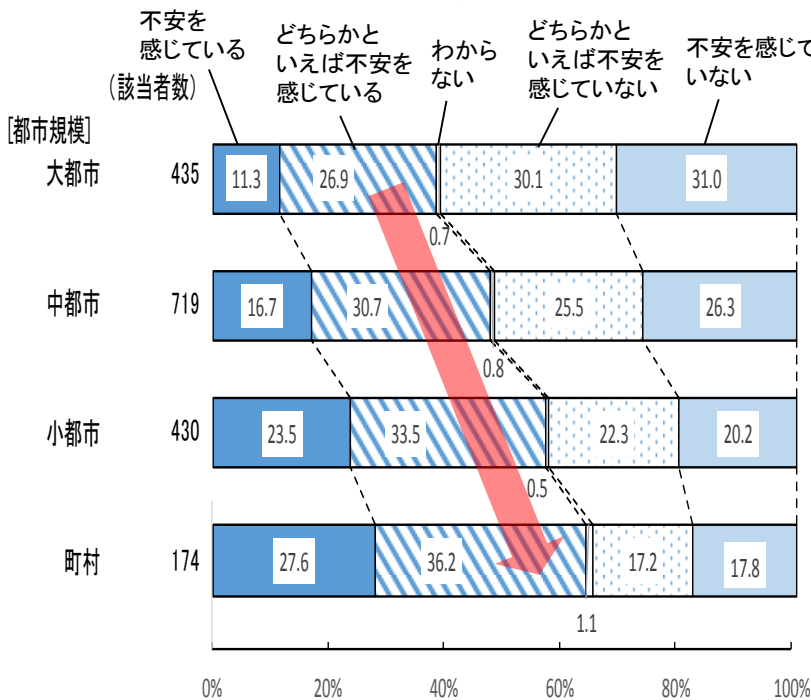
補足2. 居住地の将来に対する不安(都市規模別)

居住地の将来に対する不安(問2)について、都市規模別にみると、

- **都市規模が小さいほど、不安を感じる者の割合が高い。**[3]
 具体的には、にぎわいがなくなる、との不安のほか、働く場やバス・鉄道の運行本数が減る、学校等がなくなるといった生活の利便性への不安が比較的大きくなっている。[4]
- 一方、ご近所がいなくなる、との不安は、大・中都市で比較的大きい。[4]

[3]居住地の将来に対する不安

(問2 都市規模別)

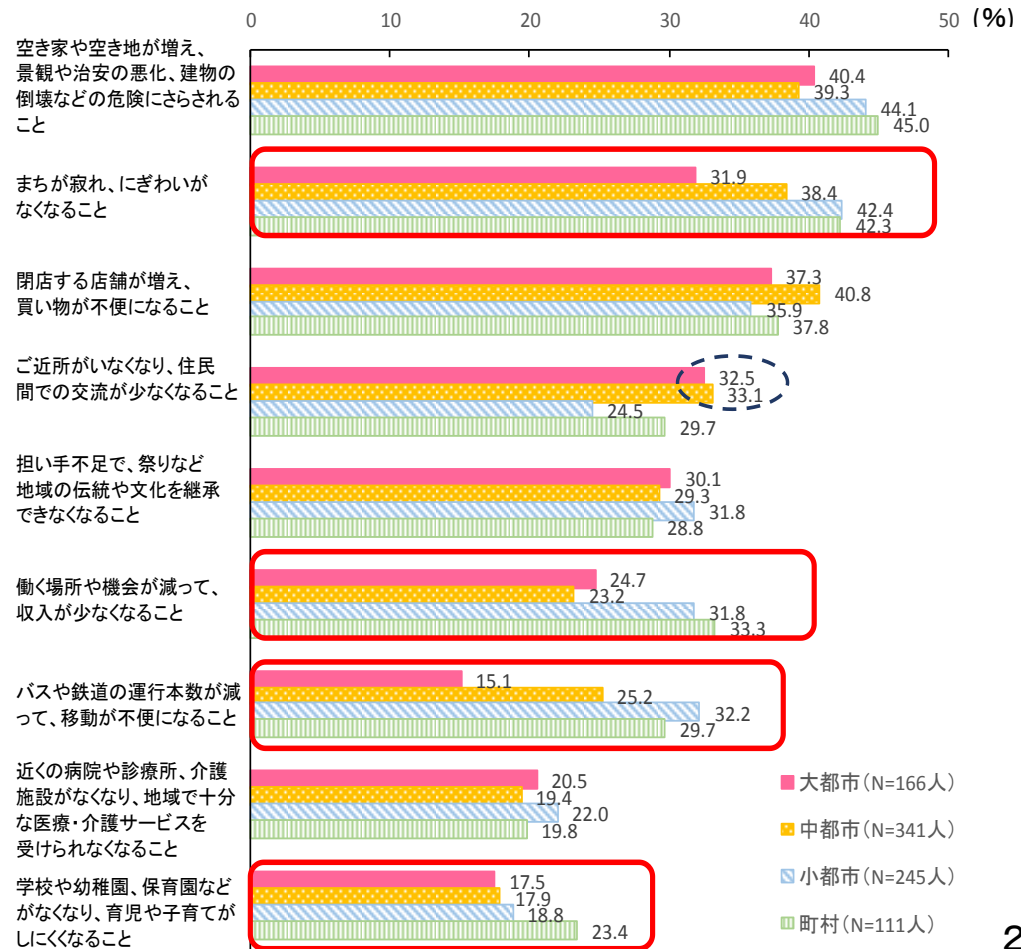


〔[4]の注〕

- [3]で「不安を感じている」、「どちらかといえば不安を感じている」と答えた者に、複数回答。
- 回答割合が低かったものなど、一部の選択肢の結果は省略。

[4]居住地の将来に関する不安要素

(問2更問 都市規模別)



補足3. 居住地を選ぶ上で重視する条件(年齢別)

居住地を選ぶ上で重視する条件(問5)を、年齢別にみると、

○ 若年層を中心に以下の傾向がみられる。

- ・20～40歳代は、学校、保育園など、**教育・子育て環境**を比較的重視。
- ・20～50歳代は、**買い物**が便利、働く場所・賃金、を比較的重視。

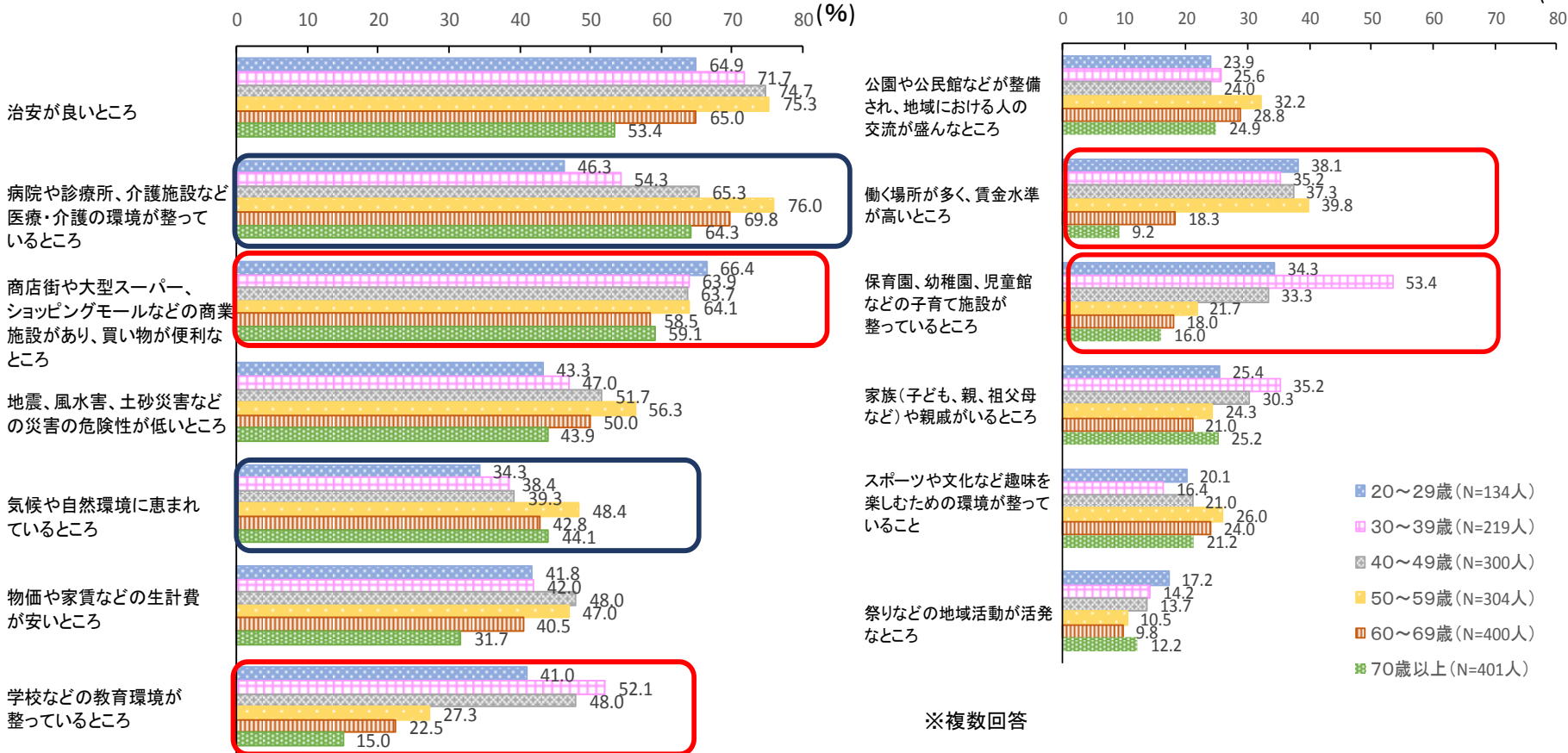
○ そのほか、中高年層を中心に、

- ・40～70歳代以上は**医療・介護環境**、50～70歳代以上は**気候・自然環境**、を比較的重視。

[5]居住する地域を選ぶ上で重視する条件

(問5 年齢別)

(%)

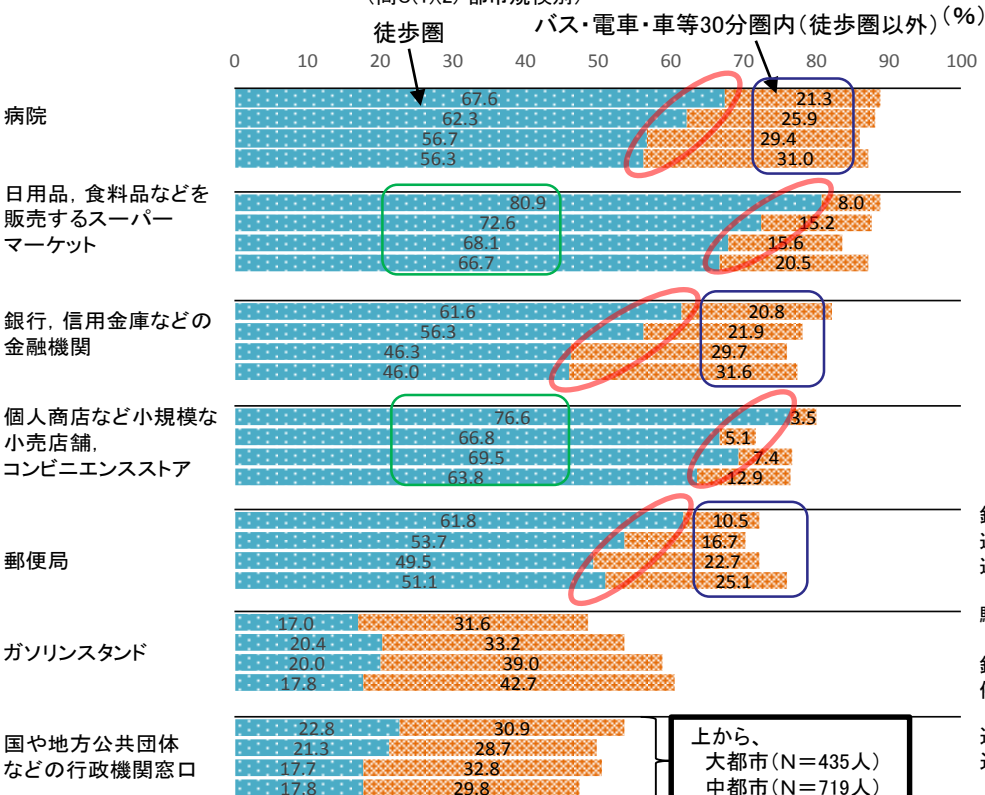


補足4. 生活サービスと「コンパクト+ネットワーク」(都市規模別)

- 必要な生活サービス施設や交通手段等(問6~8)について、都市規模別にみると、
- **都市規模が大きいほど、特に徒歩圏で必要とする生活サービス施設の数が多。**[6]
 - 施設ごとの特徴として、スーパー、コンビニ→徒歩圏 病院、銀行、郵便局→バス・電車・車等の圏内(徒歩圏以外)で必要とする割合が高い。[6]
 - バス・電車・車等で30分圏内であれば、小都市・町村では車利用が多く、大都市ではバス・鉄道を利用する傾向。[7]
 - 特に、小都市・町村では、道路整備やデマンドバス、移動販売等の充実に関する要望が比較的多い。[8]

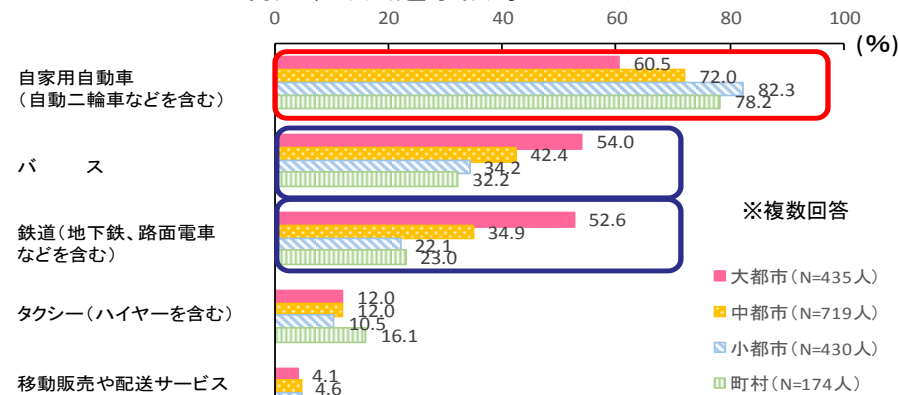
[6] 徒歩圏又はバス・電車・車等で30分圏内に必要な施設

(問6(1)(2) 都市規模別)

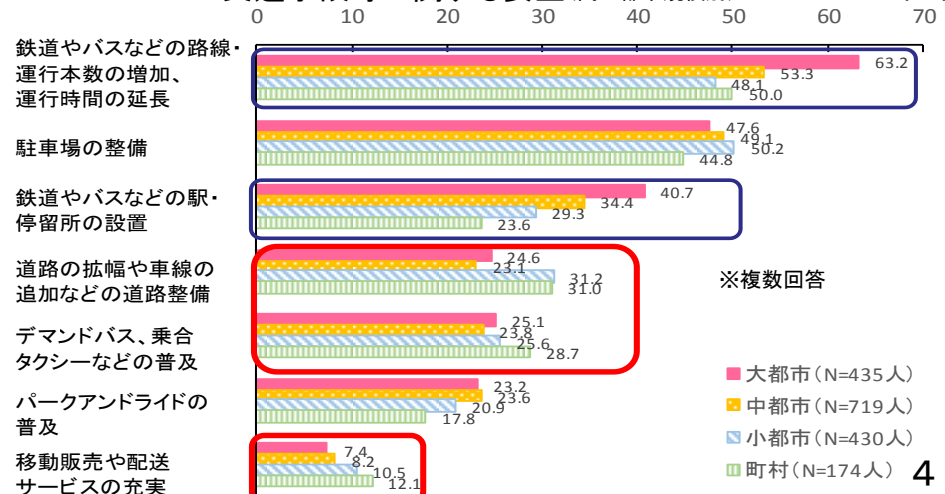


[7] 自宅と生活サービス施設が集まった場所を行き来する際に

利用する交通手段等(問7 都市規模別)



[8] 自宅と生活サービス施設が集まった場所を行き来する交通手段等に関する要望(問8 都市規模別)



上から、
大都市 (N=435人)
中都市 (N=719人)
小都市 (N=430人)
町村 (N=174人)

〔6〕の注

- 「徒歩圏」: 自宅から徒歩、自転車で行ける範囲に最低限必要な施設として選択した者の割合。
「バス・電車・車等30分圏内(徒歩圏以外)」: 「徒歩圏」で回答したもの以外で、自宅からバス・電車、車などの交通手段で30分以内に行ける範囲に最低限必要な施設として選択した者の割合。
- 複数回答。回答割合が高かった上位7位までの施設を記載。それ以下の施設は記載を省略。

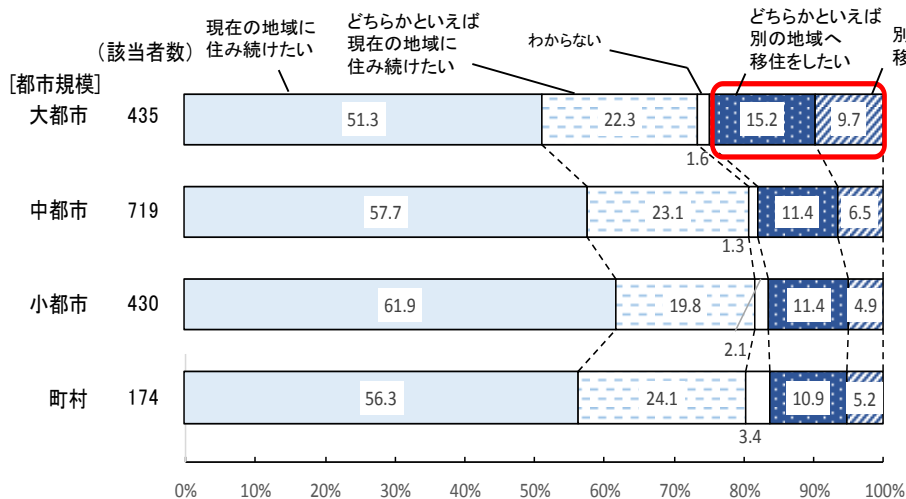
補足5. 老後に向けた移住①(都市規模別等)

○老後に向けた移住(問12)について、都市規模別にみると、

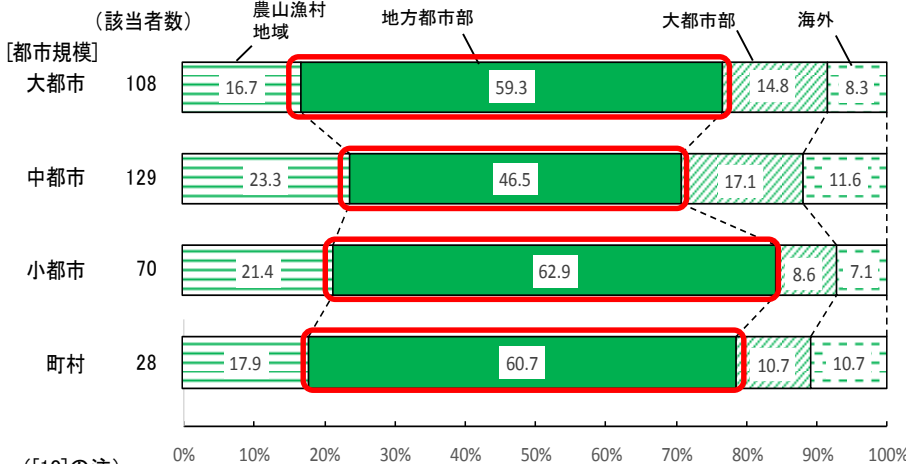
- ・ **別の地域へ移住したいとの意向は、大都市で比較的強い。**[9]
- ・ **どの都市規模でも5~6割程度が地方都市部への移住を希望。**[10]

○農山漁村地域への移住希望者の4割弱が、過去に観光等で滞在したことがあるとして、この地域を選択。[11]

[9]老後に向けた移住の意向の有無(問12 都市規模別)



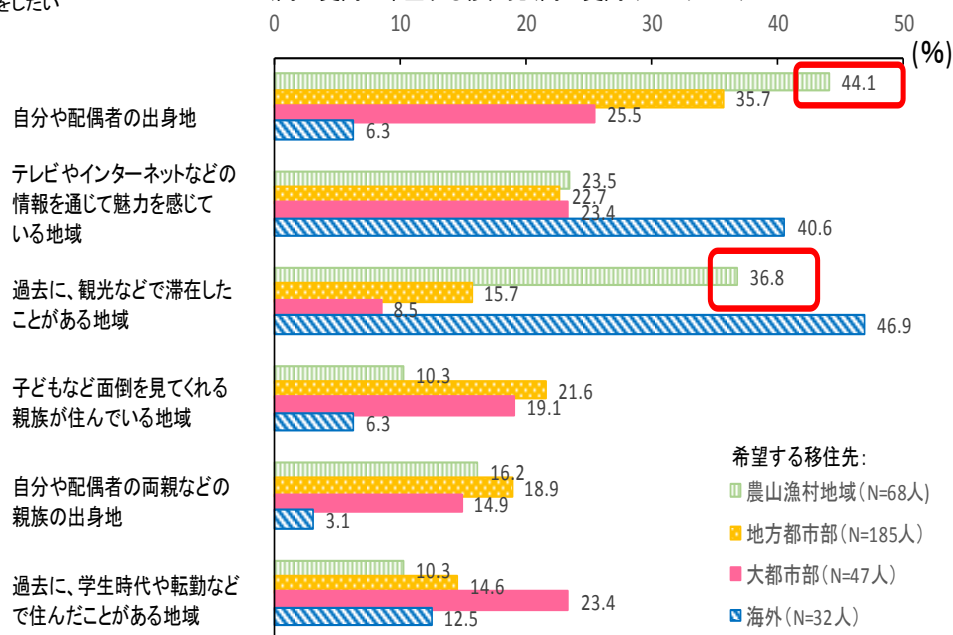
[10]希望する移住先(問12更問1 都市規模別)



[[10]の注]

[9]で「どちらかといえば別の地域へ移住をしたい」「別の地域へ移住をしたい」と答えた者に、単一回答。

[11]希望する移住先の地縁・関係性(問12更問2 希望する移住先(問12更問1)とのクロス)

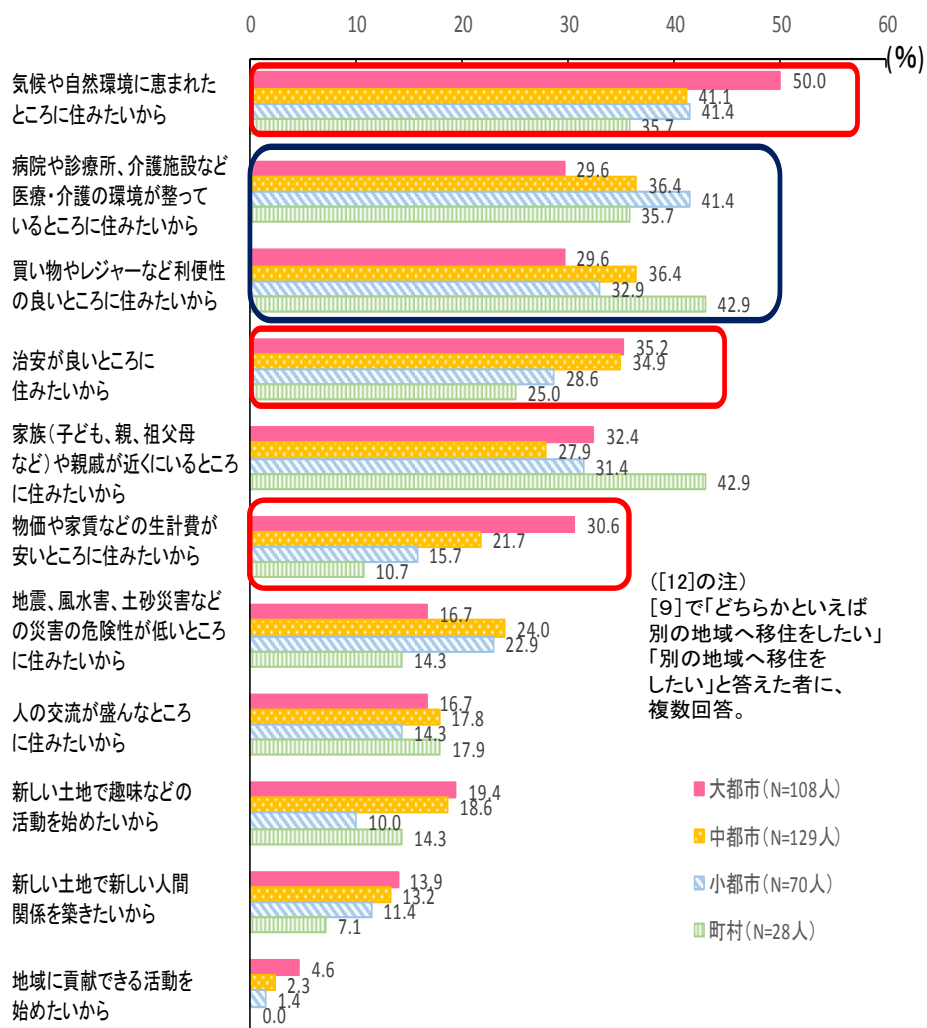


[[11]の注]

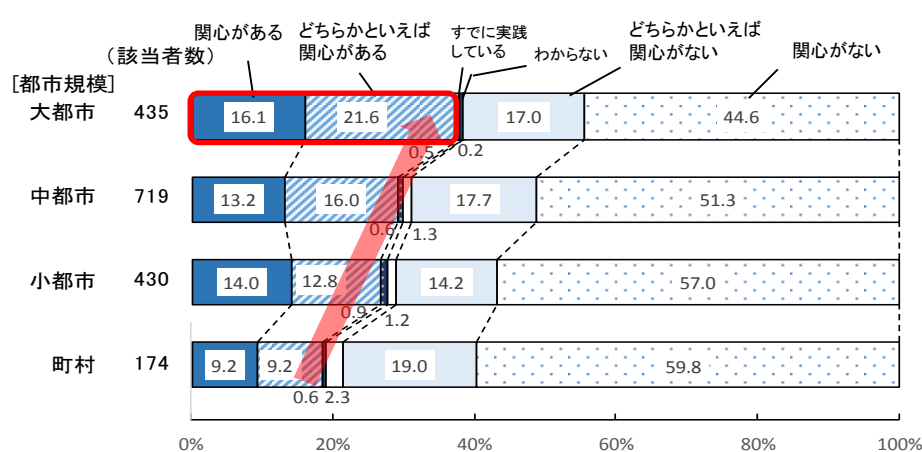
[9]で「どちらかといえば別の地域へ移住をしたい」「別の地域へ移住をしたい」と答えた者に、具体的などのような地域へ移住したいかを聞き、その希望する移住先の地縁・関係性を調査したもの。複数回答。

- 老後に向けた移住(問12)について、都市規模別にみると、大都市では、特に気候・自然環境、治安の良さ、物価・家賃等の安さを求める傾向。
一方、中都市以下では、医療・介護環境や買い物等の利便性を求める傾向。[12]
- 二地域居住に対する関心(問14)について、都市規模別にみると、**大都市の約4割が二地域居住に関心**。[13]
大都市では、特に、**豊かな自然に関心**があり、次いで、**静かな暮らし、様々な人との出会い**、を求める傾向。[14]

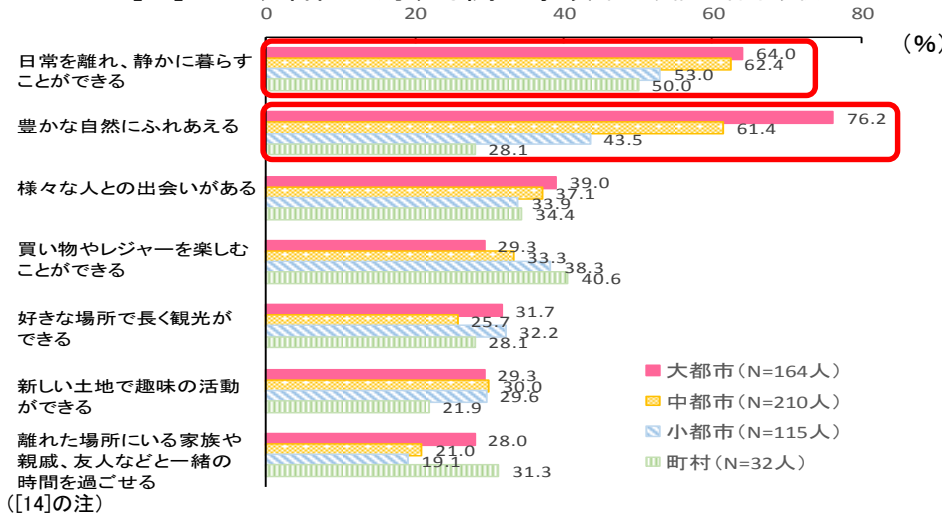
[12]移住をしたいと思います理由
(問12更問3 都市規模別)



[13]二地域居住に対する関心(問14 都市規模別)



[14]二地域居住に対する関心事項(問14更問1 都市規模別)



[14]の注)

- [13]で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答。
- 複数回答。回答割合が高かった上位7位までの関心事項を記載。それ以下の関心事項は記載を省略。